

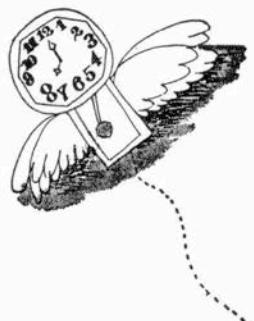


神戸の新名所「サンこうべ

★君とくる街——サンこうべ
国鉄神戸駅前に新しくできた地下街「サンこうべ」は、「空のある街」というのがキヤッチフレーズ。吹きぬけになつた中央プラザには、日本では珍しいアカシア属の「相思樹」も植わつていて、中国の家具、美術工芸品、雑貨、食料品などを売る「中国街」もあり神戸の新しい名所の資格十分。さんちかの姉妹タウンであるこの「サンこうべ」には、UCC上島珈琲の喫茶店、「カフェメルカーデ」おもやの「カメヤ」「コート・ブックス」などが入つてい

シテ今
ンこう！」は神戸出身で今
売れっ子の小坂明子さん作
曲・歌とあって、こっちの方
にも人気が集まっている。
定休日 毎月第三水曜日
★今年も五人展が
元町画廊恒例の五人展が
今年は五回目、11月19日か
ら12月1日まで同画廊で開
かれる。

神戸百店会
だより



「心」はお茶の香りそのま

本高砂屋の自信作「果心」

おかしつくり百年、伝統の技術とまごころを結晶させて本高砂屋が10月新しい菓子を発売した。「果心」と名づけられ、名のとおり作る人の心をこめて生まれたこれは、菓子の芸術品ともいえるものと、自信の作。生菓子だが夏でも一月は大丈夫という。一つ百円。
★田崎真珠が創立20周年

真珠の栽培などに力を貸す
出、販売までの一貫メー
として国内外にもその
名を知られる田嶋真珠（本
社神戸）が創立20年を迎
感謝をこめて記念の謝恩サ
ービスセールや、新作展示

会が開かれた。新作コレクションは宝石の自由な楽しさ、象牙や紫檀などと共に細工した素材の自由さ、形の自由さが新鮮だった。

ツシヨンがそろっています。いちどそのままのバーリコフレーンシヨンを集めています。
「74年サノヘ秋のキャビタルフェア」が10月23日ニユーラボへのホテルで開かれました。おしゃれの季節はたけなわ。★「このほど服斎新作発表会」が神戸アピアと大阪アピア、神戸元町本店では10月13日「ツツ・ブレイ・スボーツ」のテナントでアシショウ「74年秋のこども服新作コレクション」がおり、カジュアルウエアアシカラおしゃれなドレスまで可り、ビックルウクが発表されま

★☆
下65号
神戸市芦合区紫塚町5丁目3
元2 4 1
2 2 2 9 1, 2 2 2 9 2
元1町のサノヘにデザート、パティシエ
エール・バルマン、クレジューの
新しい作品が入りました。
トアドリのクレマジュサノヘ
には、今バリで最も人気のあるアーヴ
ンドレ・クレマジュのニコラーフィー

ゼント
どちらも一人一円万円あります。
ブランドドウブランでは、12月21日
から25日まで5時から。やはりシ
ンusoなどもあって、八千円。
★アロードのスギヤ本店二階に
あつた事務所が引起し、事務関係
についての連絡は次のところまで
お願ひします。
(有)スギヤ事務センター

★レストラン「北野クラブ」、ナイトクラブ「北野クラブ」のクリスマスマスパティチエはそれぞれ、12月1日から25日まで午後5時から(12月1日からラン)、21日から26日まで午後6時から(ナイトクラブ)、「おいしい食事」と有名(「外人」タレン出演)の豪華ショットドリンク、ショーティーム、プレ

★冬のラウンドショッピングザーヨル
の日取が実現しました。
オトカ・船来服飾雑貨店、スター二三
トーン、洋傘のオカダ、ハンドペ
イジングラサ、洋品のスギヤ、ネク
タイの市町村バザー、宝飾タマジ
各店の参加で、12月2日3日明治
生命館、F.D.、10時~2時まで。

に設置された五つのスピーカーから「お馬の親子」の音楽が三〇秒間流れ、信号が見えない目の不自由な人でも耳で確かめながら渡れるというわけで、木曜クラブと三宮ライオンズクラブの協力で完成した。

渡り初め式には神戸市視力障害者福祉協会の会員や生田老人クラブの人たち數十人がカラフルな風船を手に手に参加し、完成を祝つた。

★KFSから機関紙発刊

神戸ファッショニ市民大

学一期生の卒業生によつて去る六月に誕生した神戸ファッショニサエティ（KFS／会長・中村武志）から機関紙KFSジャーナルが発刊された。

このKFSは、ファッショニ都市神戸の街づくりの担い手となつてファッショニとは何かをアピールする実行団体としての活動を始めているが、ライフ・ファンション的な方向でビジョンを打ち立てるメディアとして今回新聞が発刊され、今後ともKFS広報委員会から定期的に出る予定。

★鳴々、ついに貴方も幸せになれるソウルステップステージで大活躍だった神戸R&Bファンクラブのソウルステップ教室が毎週木

曜日の夜六時から北野町の光の丘幼稚園で開かれていく。とてもファンキーでソウルフルな踊りを基本から教えてくれる。基本を終えると応用コースとして京阪神の各ディスコで研修、とバッチャリR&Bダンサーとして大いに楽しめる。音を聞くだけで身体の動く人は一度本格的に習つてみてはいかがでしょう。入会金一〇〇〇円、月謝一〇〇〇円（連絡先 TEL 658 東灘区魚崎北8の3の10木村哲生まで）

★秦砂丘子さんのおしゃれ

つぼさを創る本が出版

デザイナーの秦砂丘子さんの著書「ファッショナブル」が、「なぜ結婚にあこがれるか」（下重暁子著）『ぱびるすBOOKS』のひとつとして出版された。

秦砂丘子さんは、大阪に生まれ、神戸女学院大学文学部を卒業し現在ニット・デ

ザイナー、カラーリストとしても活躍中であり、一九七〇年度の日本ファッショニ・エディタース賞の受賞者である。

おしゃれはいあなたと、おしゃれのエスプリ、ファッショナブルのしゃれた関係であるための38の秘訣集。感覚的色彩論、黒党宣言を主張する著者のセンスを表わしたシンプルな装丁は、小脇にかかえて街を歩くだけであなたのセンスを変える素敵なもの。

神戸の街で見つけた「ファッショナブル」

（連絡先 TEL 658 東灘区魚崎北8の3の10木村哲生まで）

★フランメンコを引っさげて

神戸つ子が帰ってきた

スペインの「ラ・ファエル・デ・コルドバ」のグループの一員としてヨーロッパで活動していた神戸出身のフランメンコダンサー、東仲一矩さん（28歳）が四年ぶりに帰国、元気な顔を見せた。

今回の日本滞在予定は一年、踊りは自己表現だといふ東仲さん、踊る場さえあれば本場で吸収したフランメンコの「アツと驚くような」リサイタルをどんどん地元で持ちたいという。

外国人にて、いよいよ自分が日本人であることを痛

感するという現代日本の各分野・第一線で活躍中の女流執筆陣を網羅する『ぱびるすBOOKS』の井ふく子著など現代日本の各分野・第一線で活躍中の女流執筆陣を網羅する

兵庫県日本画選抜作家展

第23回北野家族水墨画・書道展

第9回井本喜裕日本画個展

虹の会絵画展

兵庫県文化賞受賞作家美術展

★ギャラリーサンチカ

新協美術秋季展

人形展

エマウス・バザール

オーストラリアフェスティバル

ラオス写真展

技能フェスティバル

★白鶴美術館

マイヨール展

フジタの時代

★南蛮美術館

白鶴秋季展「中国の青銅器」

マイヨール展

フジタの時代

★白鶴美術館

マイヨール展

秋季特別展「南蛮美術展」

★南蛮美術館

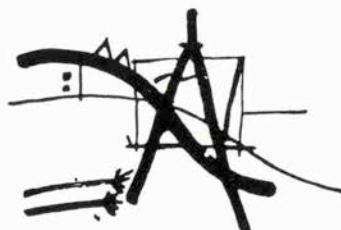
白鶴秋季展「中国の青銅器」

マイヨール展

フジタの時代

★白鶴美術館

額縁絵画・洋画材料
室内工芸品



末積製額

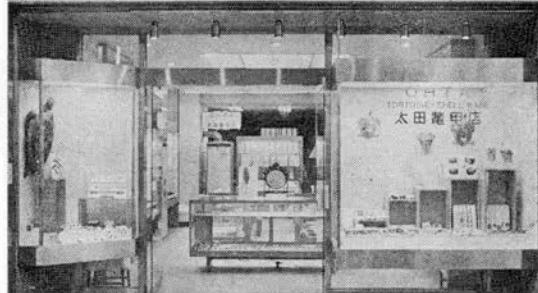
三宮・大丸北
トア・ロード
331 1309-6243

*ご進物に.....
バウムクーヘン・クッキー
マドレーヌ・ユーコン・ブイ
クリームシモン・ユーパン
その他各種洋菓子
をどうぞ！

北欧の銘菓
ユーハイム・コンフェクト

■本社・工場・熊内店 神戸市東区熊内町1(市立美術館東隣) ☎221-1164
■三宮センター街本店 神戸三宮センター街(洋菓子・喫茶・レストラン) ☎331-2421
■さんちか店、神戸大丸、そごう、阪急店、三越、元町店、神戸デパート内

太田鼈甲店



べっ甲美術品とアクセサリーの専門店

太田鼈甲店

元町1丁目 TEL(331)6195

AUTUMN KOBE SHOPPING

|

|
バウムクーヘン・クッキー
マドレーヌ・ユーコン・ブイ
クリームシモン・ユーパン
その他各種洋菓子
をどうぞ！



ハイセンスの紳士服で最高のおしゃれを！

三恵洋服店

元町4丁目 TEL(341)7290

高級紳士服專門店

神戸テーラー



さんちかメンズタウン TEL(391)0388
生田区北長狭通2(阪急西口) TEL(331)2817・3173

五

お慶びの日に カメヤの
心からの贈りものを！

おもちゃの

九
X
九



AUTUMN KOBE SHOPPING

コベ三富
サニ

やつぱりうまい
むさしのどんかつ

本店 大丸前・三宮神社東
支店 T E L (331) 567372
さんちか味のれん街
T E L (331) 5233
(第3水曜日休み)

おすし
てんぷら

榮誦



營業時間
A.M. 11.30 ~ P.M. 9.00

まだ遅くない

葉月一郎

え・小西保文(題字も)

14 霧の夜

和室の八畳一間。窓際の縁側に三点セット。

その窓から、はるか下界が見えた。

「百万ドルの夜景」などと、誰が形容したのだろうか、宝石のような夜のまたたきが、休みなく六甲の屋根にまで届いている。

ざらざらした世間と結びつくのは、この窓だけだ、と戸波は思う。このホテルの閉ざされた空間に、いま亜紀子と二人だけの世界がある。

向かいの椅子に腰をおろした亜紀子に、あらためて視線を送った。

亜紀子は、さつきから、じつと戸波をみつめていたらしく、二人の視線がからみあい、瞬間になごんだ。

(どうとう、来ただんな)

(やつと、二人きりになれましたね)

声のない会話が、まろやかに流れたような気がする。ほかに誰もない。しようと思えば、なんでもできる。

それが、戸波の心を一層ほぐしてくれた。

そのまま立ち上がる。亜紀子の前に進む。両手をさし

(あらすじ) 昭和四五年秋。毎朝新聞神戸支局の戸波暎記者は、意地な日常の中でバーの女ユカとの情事に溺れていたが、地元の大手企業兵庫製鉄(兵鉄)の公害でユカたちが苦しんでいることを知り、石津支局長たちの企画した公害キャンペーんに参加する。その直前、戸波は公害キャラバンで飛ぶ秘書課の細川亜紀子を助ける。直後、亜紀子は、会社首脳らが協議した新聞社対策などの内容を相次いで戸波に知らせ、唇を与えて「好きだ」と告げたりする。公害告発の取材は大詰めを迎へ、兵鉄の和久井社長、大北専務らとの会見も実現するが、会社側は高姿勢の答弁をつづける。そして、毎朝新聞に対し広告の掲載を取りやめるなど圧力工作をはじめる。戸波との接触の内容を会社の花房総務部長に逐一連絡していることで亜紀子に疑惑を持った戸波は、ある夜、亜紀子を問いつめる。一筋、涙を流したもののは、答えるようしない亜紀子を誘い、二人だけの夜を持つと、戸波は六甲山頂のホテルへタクシーを飛ばした。



戸波を追っていた亜紀子の瞳に、一瞬、灰色の影が走つた。そして、閃光のように消えた。

すっと亜紀子も立つた。

影も迷いも、もうない。ほのかに恥じらいの色をのせて、白い頬が戸波の腕の中に落ちた。

長く、しなやかな髪ごと、抱き寄せる。頬いっぱいに星あかりをうけて、眼を閉じた亜紀子の顔が静かに仰向いてゆく。

なにかものいいたげに喘ぎはじめた唇に、唇を合わせた。

次第に荒らあらしく、くちづけがつづく。

次第に荒らあらしく、くちづけがつづく。

湿りを帯びた体温が、胸から胸へ伝わってきた。かすかに震えを帶びた下半身を、力をこめてひき寄せてゆく。

須磨の海辺でかわした初めてのくちづけを、遠い記憶から想い起こす。

あのときから何ほども経っていない。同じ行為なのに、しかし、この違いは何と説明したらしいのか。

息苦しさに耐えきれず離れた女の唇が、時を置かず逆に戸波を求めてきた。その激しさの中に、亜紀子の情念をつかんだ想いがする。

ついさっき、海辺のレストランで、ふと見せた一筋の涙——。そして、このくちづけ。

(個人的感情と、会社がらみの一連の行為とは別です)

亜紀子は、精いっぱいそういいたかったのだろう。涙の持つ意味を、いま唇に結びつけながら、戸波は女のころを吸いこみづける。

関心は、持っていた。広い意味の好感といつてもいいそして、それがいま、まさしく愛と呼べるものに昇華したといえなくもない。

皮肉な、運命のめぐりあわせ——などということは、もう考えまい。

ドアがノックされた。

「おふとん、敷かせて頂きます」

折目正しいボーイが二人、部屋へ入ってきた。手早く、

しかも無表情に、二組のふとんを並べて敷く。
まぶしそうに、戸波は、その作業を目で追う。気恥ずかしい、席を外したくなるような気分に襲われる。
(こんな情感は、いつごろからか忘れてしまったままだつた……)

丁寧に、そして事務的に頭を下げる、ボーイたちが部屋から消えた。

じつと窓外をみつめたままの亜紀子に気付く。たつた今まで戸波の腕の中にいた細い肩を、霧はじりの鋭い夜気が包んでいる——。

「ふろへ行かない?」

声をかけながら近寄る。

振り返り、視線があうと亜紀子は微笑をつくった。そして、またゆっくりと顔を窓に寄せた。

椅子に腰をおろして、戸波は女を斜めに見上げる形になつた。

「ね、食事のときの話のつづき、しません?」

横顔を見せたまま、亜紀子がつぶやく。

「つづき?」

「もつと私を、問いつめるつもりだつたんじゃないんですか」

「あ、あれか。そんなことは、もう、いい」

「よくないわ」

思いがけず、強い口調が返ってきた。

意表を衝かれたかたちで、苦笑する。亜紀子は、そんな戸波を尻目に背後の冷蔵庫を開けて、ビールとコップ二つを取り出した。栓を抜き、テーブルに置いて、戸波のコップに注いでゆく。

「さ、飲みながら、取材を進めてくださいよ、ね」

十分前、あついキスをかわした前後とくらべて、口調も表情も、すっかり変わっているのに戸波は気付く。

(まるで、別人ではないか)

亜紀子は、自らもビールをあおると、ことばをつづけた。

「私、戸波さんの気持ち、うれしいと思つてます。好きだといって、ここまで誘つてくださつたこと、本当にうれしいんです。でも……」

そこで一呼吸おくと、亜紀子は戸波にビールをすすめた。そして、部屋に並べて敷かれたふとんの方へ視線を移した。

窓から流れこむ六甲の夜気に、冬のいろがまじつている。そのせいかどうか、急に戸波の背筋に悪感が走つた。

「でも……どうしたつて、いうの」

「愛してくださるんだつたら、もつともつと私のこと、知つてほしい」

「君のこと？」

ゆつくりと、亜紀子が正面へ向き直つた。戸波と、まるで対決するかのように姿勢を正す。その瞳に、暗く深い影が走つて消えた。

戸波の心に、さざ波のような動搖が起きる。亜紀子への愛の中にまじつている不確かで曖昧な部分を、細く鋭い針で刺されたような……。

亜紀子が、コップを握つたまま切り出した。

「ね、戸波さん。あなた、九州の市長汚職誤報事件って、おぼえてはりますか？」

「誤報……？　ああ、たしか、僕が入社する前、もう十二、三年になるかな。記者が自殺してから真実がわかつたという話だね」

「よかつた。知つてくれてたんですね」

かすかに白い頬へ血のいろが昇つた。

「そりや、まあね。第一、うちの社の出来ごとだからね」新聞記者を夢みて、まだ大学で法律を専攻していたころの話である。当時、週刊誌でよく書かれたし、入社してからも宿直の夜などに先輩から真実を聞かされもし

た。

九州のある県庁所在地都市――。

保守系の市長が収賄している事実を毎朝新聞が大きく報道した。市庁舎建設をめぐつて便宜をはかつてほしいと建築業者からたのまれ、現金百万円を受けとつた、といふ。

その席に立ち会つた助役が新聞社へ情報を流したのだ。領収書のコピーまで示された。市長は記者の追及に事実を告白した。業者も、包みきれずに白状した。

シリの重い警察を嘲笑するように、特ダネ記事が市民に届いた。市長排斥の世論がわき立つた。

だが、ようやく捜査をはじめた警察の調べに對して、市長も業者も、頭から贈収賄の容疑を否認したのである。

いや、第一ヒントを記者に教えてくれた助役までが、全くシラを切りはじめた。新聞のデッヂ上げだ、と市長をかばう発言を繰り返した。

最大の証拠だつた領収書のコピーもなくなつていて、領収書の原簿まで、いつの間にか別ものにすりかわつていた。

市長は、逆に新聞社を名誉毀損で告訴してきた。記者たちは取材のときのメモを桶に反論したが、形勢は刻々と不利になつていつた。

担当記者と支局長の戒告処分と左遷人事――。
読者からみれば、あきらかに新聞のいさみ足であり「敗北」という結論が出たのである。
たしかに、常識的には、司直の取調べ以前に記事を出したことは、問題が残つた。
だが、この封建的な土地柄で、行政と警察との癒着は想像以上のものがあり、市長らの告白があるからには記者の正義感がそのまま活字に結びついても不思議はない。

处分発表の三日後、記者は自殺した。記事に対する自信を書き綴つた遺書があつた。

すべてのカラクリが明らかになつたのは、半年もしてからのことだつた。

市長の座を狙つていた助役が、新聞社に洩らしたのは事実だつたのだ。

記事が出たあと、元知事や国会議員らの長老が多額の現金で助役の口を封じ、逆の証言をさせた。領収書も一冊分すべて新しく書き替えられた、といふ。

助役の二度目の造反。問題の領収書が地方検察庁へ提出され、あらためて汚職事件が半年ぶりに白日のもとにさらされた。

しかし、あの若い担当記者のいのちは、二度とよみがえつてこない……。

「あの事件、ずいぶん、いろんな形で、僕らも教訓を受けたなあ。でも、それが……」

いつたい亜紀子とどういう関係があるというのだろうか。戸波は、亜紀子のくらい瞳をのぞきこむ姿勢になつた。

亜紀子は、かすかに吐息をついた。

そして、かすれた声で告げた。

「あのとき自殺した記者、私の一番上の兄です」

うつと息をのむ。

深い憂愁の底に漂つてゐる亜紀子の表情を、突き刺すようのみつめる。

(そうだつたのか)

少しずつ、疑惑の黒い影が溶けてゆく。

新聞に対する強い関心戸波の仕事への理解と協力―勤務先から新聞社の動きをさぐるように指示されるとすれば、それは何という皮肉なめぐり合わせだろう。

そんな運命の中で、この女がどんなに苦しんだことか。

戸波は、ことばもない。

たしかに、あの死んだ記者は細川といつた。亜紀子と同姓である。

「私、まだ中学生でした。でも、一貫して兄を信じてました。だって、そんなデータラメを書くような軽率な人間じゃない。むしろ鈍重なぐらいノンビリ屋だったんですもの……」



兄の遺骸が西宮の実家に届いた日、はじめて父が泣いた。旧軍人だった父は、その日から毎日のように沈黙を守った。

「心筋こうそくで死んだのは、すべての真実がわかるほどの十日ほど前でした。兄や父の無念さが、そのときからずっと私の胸の中に生きてるみたいで……」

「…………」

「戸波さん、あなたは、あれ以来、私が出会った最初の新聞記者なの。そう、ちょうど年齢も、生きていたら兄と同じくらいで、はじめから他人とは思えなかつたわ」

須磨、そして、三宮の夜。亜紀子が洩らした愛のことばは、やはり眞実の声だったということだろう。

戸波は、亜紀子との間にわだかまっていた得体の知れない幕が、つきつきと取り払われてゆく想いだつた。

「いろいろ、疑つたりして、済まなかつたね」

「いいんです。私、戸波さんとめぐりあつたこと、うれしいと思ってるんだもの。だから、ここに、こうして……」

戸波は、あわてて首を振つた。

亜紀子に近づいたのは仕事のためである。だが、男として心の底にある一種の卑しさは、どう否定しようもないではないか。

しかし、亜紀子は、どこか肩の荷をおろしたような表情でことばを続けた。
「戸波さんたちの、いまの仕事、とても意義があると思ひます。私、立場を離れて、やりとげてほしいと、いつも願つてるんです」

「わかってる。本当に、ありがとう」

「いや、ありがとうなんて……。私なんかがお手伝いできることは、しれてるし、それに、会社にもある程度は義理を果たさないといけないし……」

「うまくいえないけれど……」と断りながら、亜紀子は

心中を少しづつ吐き出していた。

「そうそう。広告の差しとめ、とうとう来たよ」

戸波のことばに、亜紀子は一瞬おびえたよう身をすくめ、そして眼を伏せながらつぶやいた。

「それだけじゃない。もつともつと圧力がかかるつて来るかもしれませんわ」

蚊のなくような、細い声だつた。

長い髪が、膝に届くほど垂れて揺れた。

「具体的に、どんな……」

亜紀子は、うなだれたまま首を振つた。ひときわ大きく髪が揺れた。

「毎日のように、そのことで、会議が開かれてます。だから、きっと、何か……」

顔を上げると、亜紀子は急に立ち上がり、激しい勢いで戸波の胸に身体ごとぶつけてきた。

「お願ひ、抱いて。強く、抱いて」

「…………」

乳色の霧が、窓から流れこんできた。震えを帯びた亜紀子の肢體にまとわりつくように濃さを増している。

「亜紀ちゃん」

はじめて、名前を呼んだ。

抱きしめる。額に唇を当てる。それをはねのけるように、亜紀子は唇を求めてきた。

激しくくづけの中で、戸波の思考が停止する。

亜紀子は、会社と戸波との間で揺れ動く日常から脱したいのではなかろうか。はつきりと戸波の側につくことを望んでいるのではないのか。

（いま、そこまでいつてしまつていいのだろうか）

主のない二組の夜具が、しらじらと部屋の中央を占領しているのに戸波は気付いた。

（つづく）

後編
記集

は少しも変わらず、娶ったのは私だけだ
デシタ。　　（橋本 明）



なんです。心が落ち着くし、イヤな事も全て忘れてしまえる私の友達の一人です。愛犬のサンちゃんも私の親友の一人(?)なんですよ。

親友の一人(?)

が落ち着くし、イヤな
こしまえる私の友達の
へのサンちゃんも私の
・)なんですヨ。

（尼崎市　茂川　秀子）
★すっかり秋になりさわやかなこの頃ですが、お變りございませんか。

さそさそ熱がったことでしょ？（新集部一同）

★ただいま試験中の身でありながらついで古い雑誌を見ているうちに貴誌のことがありました。といひ思いました。(以前もお願いしてよろかと考えておりましたが、今回はもう直ちに現金封筒を手にした次第です。オーハーではありますか。毎日神戸への憧れが、夢がふくらんできているのでしょう。

(福岡市　川本　康子)

★秋らしい気候になりました。芸術の秋、スポーツの秋、読書の秋などといいますから、私はもっぱら食欲の秋、秋になるととつても楽しくなります。今年の秋は、何キロ増えるかな。夏やせる体质なので、その分秋に挽回するのです。

酒をくらうしかないのだ。酒飲め、酩酊醇亦酩酊。(S)
★あさつて「世界の福祉施設」の編集者で、本明郎はこの間から娘なさるの話ばかりで、やかしてもちっともこたえない彼の周りはちょうどシラカベで、次は誰だらう」と、橋本さん「うなづいて、うなづいて」星を見て感じること——あした——口ばかりによろしくしなければ。單細胞人間には「精神の冒險」という言葉がある。木村千鶴子は、神戸の街の音楽は、そちらへのゆきうンドらがうで、といえるときこそ、ソフテツナブルな音の芽がふくらんでいるデス。素敵な音の芽がふくらんでいるデス。有難い。(川崎啓一)

★発行にいろいろお世話いただいた方がた

小小楠貝鴨柏嘉嘉金小小岡牛櫻石石乾砂青朝安
曾比泉林磯本原居井納納井野根崎尾並野野 野木奈部
徳芳良憲六 健毅正元一真 吉正成信豊 重 正
一夫平吉一玲一六治彦夫造忠朗一明一彦仁雄隆夫

津高陳田玉田田淹淹竹角砂塙新白雀阪坂古後上小
高橋 辺井中宮川川中南田路谷川部本井林藤林林
和 舜聖 健虎勝清 猛重義秀 昌 時喜末英秀
一孟臣子操郎彦二郁夫民孝雄渥介賤忠慶二一

神行元百村光宮宮松福深畠野南難中中西西直外竹
戸青吉永崎上田地崎井富水 沢部波西卷脇村木島馬
年会哉定辰正顕襄辰高芳惣專幸主 太健準
議二二一
所女正雄郎司二雄男美吉郎郎三還勝弘親功郎吉

★月刊神戸っ子
たい皆さま、また
お友達に、神戸っ子
なりたい方は、
み下さい。さつ
さつ

を毎月お読みになりたい
た神戸を離れている
の香りをおとどけに
編集室あてにお申込
そくお送りします。
○○○円(送料共)
をお買求めの時には
どうぞ。
國鉄本山駅北口
東灘区本山
東灘区御影中町
阪急六甲駅
新聞館1
芦合区布引町4
生田区古湊通1



神戸っ子ごあんない

★月刊神戸女子を毎月お読みになりたい皆さま、また神戸を離れているお友達に、神戸の香りをおとどけになりたい方は、編集室にてお申込のみ下さい。さっそくお送りします。

★月刊神戸っ子に広告を掲載ご希望の方は編集室へお申し込み下さい。★神戸百店会の事務局は月刊神戸っ子編集室内にあります。

★ 1月刊 分冊
左の本屋さんへどうぞ。
★ 1月刊 分冊
左の本屋さんへどうぞ。
★ 1月刊 分冊
左の本屋さんへどうぞ。
★ 1月刊 分冊
左の本屋さんへどうぞ。

には
北口
北口
本山
中町
1階
1
町
通
は
★発行 / 49年11月1日
★編集・発行 / 小泉康夫
★発行所 / 神戸つ子編集室
神戸市生田区東町113の1
大神ビル8階
2 2 4 6 (代)
神戸四五九一九五
頒価 200円
振替口座 (331)

神戸のうまいもんとドリンク

★日本料理

そば吾

神戸市生田区中山手通2丁目3-17
TEL 242-2858

讃岐名代うどん
あこや亭
神戸市葺合区旗塚通7-5
トアロード店 TEL 391-2538
兵庫駅前店 TEL 575-5306

和食くれない
三宮生田新道浜側中央
KCBビル2F TEL 331-0494

かっぱう花くま
神戸市生田区花隅町45
TEL 341-0240

鍋もの・おむすび
悟味西
神戸市生田区北長狭通1の20
三宮さんちかタウン TEL 391-5319

お茶漬・おむすび
鍋もの
小る里
神戸市生田区北長狭通2の1
TEL 331-5535

たこ焼たちはばな
三宮センター街(旧柳筋) TEL 331-0572

北海道郷土料理 蝦夷
神戸市生田区中山手通1丁目115
生田区東門筋東門会館ビル1階
TEL 331-7770

カニ料理 婆娑羅(ばさら)
神戸市生田区北長狭通1丁目18
三宮阪急西口北側レインボーブラザ1・2F
TEL 321-6363

★西洋料理

レストラン アポロン
ティーバーラー
神戸市葺合区八幡通5丁目6
TEL 251-3231

レストラン 肉屋
皮(あらかわ)
神戸市生田区中山手2-9
TEL 221-8547・231-3315

GALLERY &
STEAK HOUSE SAN-MON 三門
神戸市生田区中山手通二丁目98/99
TEL 331-5817

ステーキハウス れんが亭
神戸市生田区下山手通2丁目34
TEL 331-7168

レストラン セントジョージ
神戸市生田区北野町1丁目130
TEL 242-1234

レストラン 男爵
神戸市生田区中山手1-18
山手第一ビル1F TEL 241-0778

maison de la mode
花屋敷
三宮フラワーロード市役所前
TEL 251-2109

鉄板グリル
きやんどう
神戸市生田区北長狭通2-22
TEL 331-1183

レストラン キングスアームズ
神戸市葺合区磯通4-61
TEL 221-3774

井戸のある家
生田新道新世纪南
TEL 331-5664

ムーンライト
三宮・生田新道
TEL 331-9554

串かつ店 和蘭陀屋
三宮相互タクシー北入
TEL 321-0230

グリル・鉄板焼
月
神戸市生田区北長狭通1-24
生田神社前 TEL 331-2509

BARBECUE & STEAK 六段
生田区元町通3丁目
TEL 331-2108

イタリア料理 ドンナロイヤ
神戸市生田区明石町32
明海ビル地階 TEL 331-7158

レストラン ハイウェイ
神戸市生田区下山手2-20
TEL 331-7622

ピッツアハウス ピノッキオ
神戸市生田区中山手2-101
TEL 331-3545

レストラン フック東店
神戸市生田区栄町1-5-3
TEL 321-3207

ピザ&スパゲティ ガルの店
葺合区琴緒町5丁目1-7
西山ビル1F TEL 241-9025

レストラン ミリオナーラブ
生田区山本通2丁目50の2
レストラン 231-9393~5
メンバーズ 221-1162

ドリンク &
レストラン ベルビュ・ドール
神戸市生田区中山手通2丁目101 大洋ビル2F
TEL 321-5677

フォーグ
ウエスタン
ローストシティ
神戸市生田区三宮町3丁目22
TEL 331-3770

RESTAURANT & BAR
ゴックスタッド
生田区山本通3丁目18 回教寺院前
TEL 242-0131

メキシコ小料理亭
ティファーナ
神戸市生田区中山手通1丁目4/12 パールコーポラスビル1F
TEL 242-0043

ドイツ風
音楽レストラン
コーベ・ローライ
生田区北長狭通6丁目39
TEL 371-0086

★喫茶
宮水の
コーヒー
にしむら珈琲店

中山手店・神戸市生田区中山手通1丁目70
TEL 221-1872-231-9524
センター街店・神戸市生田区三宮町2丁目35
TEL 391-0669
北野店・山本通2丁目9 TEL 242-2467
(会員制) 3F事務所 TEL 242-1880

喫茶・レストラン
バローニ
神戸三宮サンプラザ地下 TEL 391-1758
トアロード店 TEL 391-1210

喫茶 ガーディニア
神戸市生田区東町113-1 大神ビル1F
TEL 321-5114

珈琲モーツアルト
神戸市生田区山本通2丁目98グランドマンション1F
TEL 241-3961

★club
くらぶ 阿似子
神戸市生田区中山手2丁目89
TEL 331-6069

club 飛鳥
神戸市生田区中山手1丁目117
TEL 331-7627

club 小万
神戸市生田区東門筋中島ビル3F
TEL 391-0638・4386

club ち
神戸市生田区中山手通2丁目75
TEL 331-7120

クラブ 千
神戸市生田区下山手通り2丁目21
TEL 391-1077

club なぎさ
神戸市生田区北長狭通2の1 TEL 331-8626

club 蘿^くふき
神戸市生田区下山手通2丁目 TEL 391-1515

くらぶふ一げん
三宮生田新道浜側中央KCBビル5F
TEL 331-8593

club Moon Light
BAR TEL 331-0886-391-2696
Club TEL 331-0157

クラブるふらん
神戸市生田区北長狭通1丁目53 TEL 331-2854

★STAND & SNACK
スタンド 英国屋

洋酒ハウス 雜貨屋
生田区下山手通2丁目8の6
(生田新道相互タクシー横上) TEL 321-0260

スタンド グラムール
生田筋岸ビル地階 TEL 331-4637

S N A C K MATSUMOTO
神戸市生田区中山手通1丁目32-3
曾根ビル1F TEL 241-5470

カクテルラウンジ サヴォイ
高槻山側 テキの店北
TEL 331-2615

スタンド 晴海(Sei-kai)
生田区北長狭通2-141
TEL 321-2250

DRINKING IS AN ART OF LIFE ウッドハウス
神戸市生田区下山手通1丁目32
PHONE 078-241-7320

スナック ビジービー
神戸市生田区中山手2丁目
TEL 391-4582

居酒屋 ボルドー
生田新道浜側中央KCBビルBIF
TEL 331-3575

Wine and something 珍地理屋
神戸市生田区中山手通1丁目24-7
大和ナイトプラザ1F TEL 242-0288

サロン 神戸時
生田区中山手通1丁目28
シャトウコトブキビル TEL 242-3567

スタンド クル実
生田区中山手通1の72
TEL 331-6985

洋酒の店 キヤンティ
神戸市生田区北長狭通2丁目3
TEL 391-3060-391-3010

スープとパン店 キャンティ
神戸市生田区下山手通3丁目8-9 TEL 331-3661

DRINK SNACK スネカジリツ子
神戸市生田区下山手通2丁目
水景ビルB1 TEL 391-8708

Stand&Snack サントノーレ
生田区下山手通2丁目トア・ロード
TEL 391-3822

Salon de roulette サントノーレ
パンドラ ルーレット教室
神戸市生田区中山手通1丁目24-7
ダイワナイトプラザ6F TEL 241-1710-221-3886

案内洞でつさん
神戸市生田区北長狭通1丁目258
TEL 331-6778

STAND マシユケナダ
生田区下山手通2丁目ちやいなタウン地下
TEL 331-5587

スナック GASTRO
神戸市生田区中山手通3-20
トーアマンション TEL 231-0723

スタンド クラブ・ガーデニア
神戸市生田区中山手通1丁目115
東門筋中島ビル2F TEL 391-3329

S N A C K 山の手
神戸市生田区中山手通1丁目
ソネビル1F TEL 221-3637

比奈古多
神戸市生田区北野町1丁目143
Tel. 241-1306

サロン アルバトロス
生田区中山手通り1丁目24の7
大和ナイトプラザ2F-B TEL (231)3300

スナック エルソタノ
神戸市生田区下山手通 TEL 331-6620

スナック 山莊
神戸市生田区北長狭通1丁目22
TEL 391-5823

スタンド 紋
神戸市生田区北長狭通1丁目41-1レンガ筋
TEL 331-8858

★KOBE PLAY GUIDE MAP
神戸のうまいも!





アルバトロスは、この11月で
5周年を迎えることになりました。
これも、ひとえにみなさま
方のおかげと感謝いたしております。
今後ともよろしくお願い
申しあげます。(戸井)

The salon of selected people
アルバトロス

生田区中山手通1丁目24-7
ダイワナイトプラザ2F
PHONE 231・3300

●毎週第4日曜日にはジャムセッションをやっています



オープンして はや三年。
さんプラザの バロンは

おかげさまで 皆さまに愛され
親しまれる店に育ちました。

これからもよろしくお願ひします。



バロシ

★英国風喫茶・レストラン 三宮さんプラザ店
TEL 391-1758 AM11:00~PM 9:00迄

★コーヒーショップ トア・ロード店
TEL 391-1210 AM10:00~PM 9:00迄

★コーヒーショップセンター街店
TEL 391-1375 AM10:00~PM 9:00迄



神戸のくらぶ山川が淡路島にオールシーズンロッジをオープンしました。
只今会員募集中です。お問合せはofficeへどうぞ！



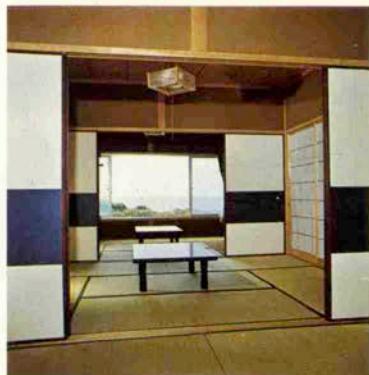
1階 応接室



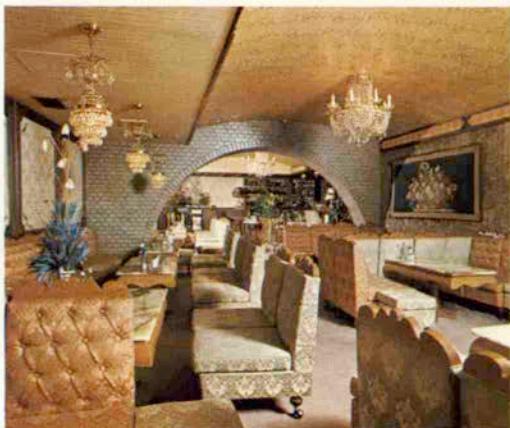
AWAJI

YAMA KAWA

兵庫県津名郡五色町都志角川字土井越1467番
PHONE 07993-3-0352 OFFICE 078-391-1958



2階 和室



くらぶ 山川

YAMAKAWA

神戸市生田区北長狭通1丁目28の1(ホワイトローズビル3F)

電話(078)331-3225・9327

私とくらぶ山川 <2>

私達のように昼間仕事に追いまわされている者にとって、夜の社交場は憩いの場でもあります明日の活力を蓄える場でもある訳です。

だからこそ三宮で数多くあるクラブの中から皆んなそれぞれ自分に合う、安心して遊べる店を選ぶのだと思います。

私も何軒かのホームグランドの中の1軒としてクラブ“山川”を良く利用します。

ママさんが経験も豊富だし苦労人で安心して遊べる店だと思います。

自分の行きつけの店が、良い店であり評判が良く人気があると言う事は、私達客にとって嬉しい事です。

協同商事株式会社 社長 山田 健次

私の店は早くから軟水を使っていました。いいものをとり入れることに躊躇してはダメですよ。GSは水商売の救世主、といつてますが、確かにそうです。決して大袈裟じゃありませんね。

(ガストロ)

水割の出は軟水を使っているかどうかにかかっていますね。だって、誰でも口ざわりがよければ、どんどん空けて下さいますからね。頼りになります。

(ミヨコ)



RESTAURANT & WINE

GASHIRO

生田区中山手通3-20

トーアマンション1階

☎231-0723

うちでは、コーヒーや水割に軟水を使っています。同じ飲んで頂くのなら、味のいいものを……。お客様を大切にする店なら軟水を使うべきですね。

(リーベ)



SNACK

345

生田区中山手通1-91-74

三共ビル2階

☎391-3236



TEA & SNACK

LIEBE

葛谷区熊内町1-1-2

☎241-7334

K D
Tomorrow's World Today

- この秋の不景気をのりきる
- 償却は1週間、その後は利益アップ1本
- 現在一流店、有名店ではすでに使用中
- GS会員にはアイディアや新製品をコンサルティング
- 欧米では常識、インテリアにアクション

〈総発売元〉



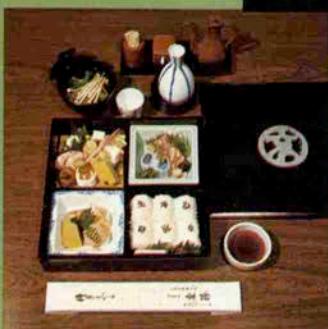
KANSAI DIVISION CO INC.

GS事業部 TEL. 078-241-3830

民芸風

の落ち着いた大小の
テーブルの御食事処

お座敷と、お気軽な



うどんすき	…	¥ 1,200
寄せ鍋	…	¥ 1,200
すき焼	…	¥ 1,500
しゃぶしゃぶ	…	¥ 1,500
かにちり	…	¥ 1,500
魚ちり	…	¥ 1,500

●ランチタイム…定食二割引
※御宴会は80名様迄・ご家
族様の小部屋もございます。

民芸風 お食事処

鍋物・会席

樂 珍

阪急三宮西口北レインボープラザ3F
三宮阪急西口店 ☎ 321-5200(代表)

四季おりおりの 旬の味覚を存分に……

“婆娑羅”は カに料理を中心に
四季おりおりの旬の味覚を存分に
ご賞味いただけ和風レストラン…
ご商談・ご宴会・ご家族連れまで
あらゆる集いに ご利用ください



神戸・三宮阪急西口北側レインボープラザ1-2F
☎(078)321-6363



かに料理の店

かずかずの海の恵みが
味わえる季節…
なかでも
日本海のかにの味覚こそ
その王者といえましょう。

カクテルサルーン
*Mermaid*は
神戸のオアシス!

貨物船ムード!

ゴージャスな雰囲気!!

各種洋酒、その他料理も多くとり
そろえて信じられない程安い価格
でお楽しみいただけます。

▲メンバーボトルも御利用下さい。



カクテルサルーン
マーメイド

神戸・三宮阪急西口北側 レインボープラザ地下
☎(078)331-7660
営業時間 PM5:00 → PM11:30



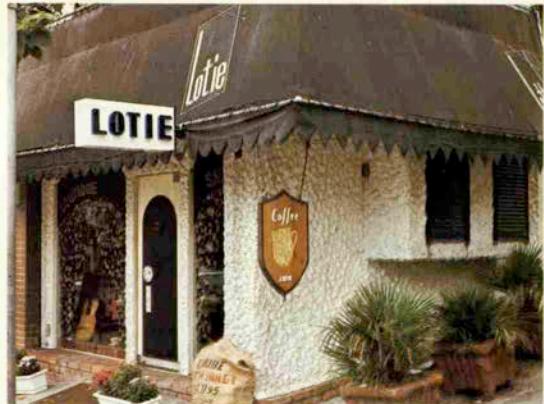
 メキシコ料理の店
TIJUANA

生田区中山手通1-4-12
パールコーポラスビル1F

☎ 242-0043

DRINKING IS AN ART OF LIFE 生田区中山手通 1 丁目32
WOODHOUSE 山内ビル

☎ 241-7320



 Snack & Boutique
LOTIE

生田区再度筋町35-1

☎ 341-5223

KOBE DRINKING GUIDE

Restaurant
Calvados

生田区山本通 4 丁目97

☎ 231-6137~8



太陽の国“メキシコ”、情熱と音楽の町“メヒコ”、タコスを片手にテキーラを飲み、アミーゴ(友)と共に唄おうじゃないか！

サルー(カンパイ)！ メヒコ！ サルー！ ハポン！

そんなムードが店全体に満ちているティファーナ。貴方達も一度、ティファーナに来てみませんか。そして、アミーゴをつくり、また、恋人との語らいに愛のセレナーデを聞き、二人のムードを楽しんで下さい。

☆タコス ￥500 チリコンカルネ ￥600 テキーラ ￥500
6:00P.M.~2:00A.M. 火曜日休み



ティファーナ



ウッドハウス

★白い息からのがれて、“ウッドハウス”的ドアに手をふれてみると、長い夜を語り明かせる何かがある。

11月の“ウッドハウス”。長い長い夜がアッという間に過ぎてしまう楽しさがある、何かがある。クリスマスにはまだ早い……。あと1ヶ月で新しい年というほどあわただしさもなし、ただあるのは長い長い夜の一日、何かがある。歌がある。笑いがある。何かがある“ウッドハウス”。

☆昼(11:30A.M.~7:00P.M.)コーヒー￥150 紅茶￥150 ビラフ￥250
サービスランチ￥300 夜(7:00P.M.~4:30A.M.)ビール(小)￥300
水割り(O.L.D.)￥400 フィズ￥500 おつまみ￥100 平日11:30A.M.~
4:30A.M. 日曜5:00P.M.~0:00A.M. 第1・3日曜日休み

KOBE DRINKING GUIDE

弾いて、唄って、飲んで、愉快なお店
それがpetiteなLOTIEです。

○男性のお客様には洋酒各種

○純珈琲党のお客様には手挽一品珈琲

○舶来ネクタイ各種

○女性のお客様にロティーのプライベートファッショ

☆平日 5:00P.M.~12:00A.M.

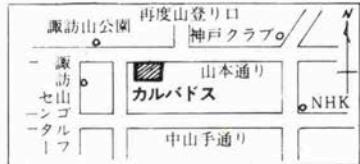
土曜日、日曜日、祭日は1:00P.M.~12:00A.M.

木曜日休み

ロティー



カルバドス



★たとえば彼女と食事をしようとしてクルマに乗ったとする。さて、どこへ行くか？ 静かな場所で、ムードのあるところというと……。仲々決まらない。が、もし、君が一度でも“カルバドス”へ行ったことがあるのなら、迷わず、クルマは諏訪山へ……。閑静な周囲にうまくマッチした欧風調のシャレたレストラン“カルバドス”。ピアノの音色と甘いボーカルがきっと彼女を魅了するだろう。君が洗練されたセンスを誇るなら、“カルバドス”こそ君にピッタリの店なのだ。〈ピアノ&ボーカル〉 月・水・金・土曜日 山本憲一、羽岡利幸、火・日曜日 阪本完二、レギュラー 高橋真知子

☆ヘレミニッツステーキ——￥2,000 ピーフシチュ——￥1,500
エビとパンのフライ——￥800 ミートボールシチュ——￥1,300
サラダ——￥500 タンシチュ——￥1,300
バレンタイン￥500 バレンタインボトル￥7,000
7:00P.M.~2:00A.M. 木曜日休み